第十一講　「らむ」の識別／「じ」／「べし・まじ」／「まほし・たし」／「ごとし」

「らむ」の識別

【識別対象】
１「　　」の助動詞「らむ」
２「　　」の助動詞「り」の「　　形」＋推量の助動詞「む」
３「～ら」となる活用語の未然形＋推量の助動詞「む」

★〈見分け方〉＝「　　」の「　　」

１　上が「　　」段＝現在推量「らむ」
（例）読む**らむ**

２　上が「　　」段＝完了「り」＋推量「む」
（例）読め**らむ**

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

３　上が「　　」段＝活用語の未然形＋推量「む」

（例）　深き故あ**らむ**

※「はべらむ」や「けづらむ」などの例外にも注意！

はべらむ

けづらむ

たてまつらむ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一　次の傍線部「らむ」の文法的説明として、最も適当なものを後の中からそれぞれ選べ。

①　ふるさとの見ざらむ人に…

②　人をまつらむ。

③　何をかたてまつらむ。

④　「～思ひはべらむこと」とわびたまへば…

⑤　なほその境に至らで詠めらむは無念なりとて、…

ア　助動詞「らむ」

イ　助動詞「り」＋助動詞「む」

ウ　活用語の未然形の活用語尾＋助動詞「む」

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問二　「流れのままに十余町もや行くらむ。」の傍線部の文法的説明として、最も適当なものを次の中から選べ。

ア　現在推量の助動詞「らむ」の終止形
イ　現在推量の助動詞「らむ」の連体形
ウ　完了の助動詞「り」の未然形＋推量の助動詞「む」の終止形
エ　完了の助動詞「り」の未然形＋推量の助動詞「む」の連体形

問三　「いかがなりぬらん。」の傍線部と文法的に同じものを、次の中から選べ。

ア　心あてに折らばや折らん初霜の置きまどはせる白菊の花
イ　吹くからに秋の草木のしをるればむべ山風をあらしといふらん
ウ　あらざらんこの世のほかの思ひ出にいまひとたびの逢ふこともがな
エ　ながからん心も知らず黒髪の乱れてけさはものをこそ思へ

問四　「いかでかその由を知らざらむ」の傍線部の文法的説明として、最も適当なものを次の中から選べ。

ア　動詞の未然形＋打ち消しの助動詞「ず」の未然形＋推量の助動詞「む」の連体形
イ　動詞の連用形＋打ち消しの助動詞「ず」の連用形＋推量の助動詞「む」の終止形
ウ　動詞の未然形＋打ち消しの助動詞「ず」の連用形＋推量の助動詞「らむ」の連体形
エ　動詞の連用形＋打ち消しの助動詞「ず」の未然形＋推量の助動詞「らむ」の終止形
オ　動詞の連用形＋打ち消しの助動詞「ず」の未然形＋詠嘆の助動詞「む」の終止形

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問五　次の傍線部の文法的説明として最も適切なものを、後の中から選べ。

「ここにありし人はまだやながむ<u>らむ</u>。」（a）
「人違へしてはをこな<u>らむ</u>」（b）

ア　現在推量の助動詞
イ　形容詞の一部＋推量の助動詞
ウ　完了の助動詞＋推量の助動詞
エ　形容動詞の一部＋推量の助動詞

a＝　　　b＝

問六　「いかなる事を<u>せんずらん</u>」の傍線部の文法的説明として、最も適切なものを次の中から選べ。

ア　動詞「す」の未然形＋助動詞「むず」の終止形＋助動詞「り」の未然形＋助動詞「む」の終止形
イ　動詞「す」の未然形＋助動詞「むず」の終止形＋助動詞「らむ」の終止形
ウ　動詞「す」の未然形＋助動詞「む」の終止形＋助動詞「ず」の終止形＋助動詞「らむ」の終止形
エ　動詞「す」の未然形＋助動詞「む」の終止形＋助動詞「ず」の終止形＋助動詞「り」の未然形＋助動詞「む」の終止形
オ　動詞「せんず」の終止形＋助動詞「らむ」の終止形

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

じ

接続	基本形	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	活用の型
形	じ	○	○				○	型

【意味】＝「　　」の打消

①　打消推量（～ないだろう）

②　打消意志（～ないつもりだ）

★〈意味の見分け方〉＝主語確認

●一人称　→「　　　　　」

（例）　我は申さ**じ**。

●それ以外**→**「　　　　　」

（例）　人の心にはつゆをかしから**じ**。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問七　「これ程の事はよもあらじとて…」の傍線部の意味として、最も適当なものを次の中から選べ。

ア　推量　　イ　自発　　ウ　打消推量
エ　可能　　オ　現在推量

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

べし・まじ

接続	基本形	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	活用の型
	べし			／○		／○	○／○	型
	まじ			／○		／○	○／○	型

【「べし」の意味】＝「スイカとめて」

① **推量**（〜だろう）
② **意志**（〜よう）
③ **可能**（〜できる）
④ **当然**（当然〜はずだ）
⑤ **命令**（〜せよ）
⑥ **適当**（〜するのがよい）

【「まじ」の意味】＝「　　」の打消

① 打消推量（〜ないだろう）
② 打消意志（〜ないつもりだ）
③ 不可能（〜できない）
④ 打消当然（〜はずがない）
⑤ 禁止（〜するな）
⑥ 不適当（〜ないほうがよい）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

★〈「べし」の意味の見分け方〉＝文脈判断。目安として主語確認。

●一人称→「　　　　」

●二人称→「　　　・　　　」

●三人称→「　　　　」

※打消・反語の文脈→「　　　　」

※比較・選択の文脈→「　　　　」

（例）家の作りやうは、夏を旨とすべし。

※「べき由（よし）」の「べき」→「　　　　」

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問八　次の傍線部の文法的意味を答えよ。

①　この人々の深き心ざしは、この海にも劣らざるべし。

②　東の方に住むべき国求めにとて行きけり。

③　わが身は女（をうな）なりとも、敵の手にはかかるまじ。

④　藤波の咲き行く見ればほととぎす鳴くべき時に近づきにけり

⑤　「人に聞かすな。人に漏らすまじ」と口固めけり。

⑥　二条殿へきと参るべきよし、仰せごととて、…

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問九　「この人にまさるべからず。」の傍線部の助動詞の文法上の意味として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　受身　　イ　可能　　ウ　尊敬　　エ　打消
オ　存続　　カ　意志　　キ　婉曲　　ク　命令

問十　「因果の道理、違（たが）ふべからず、慎むべし、慎むべし。」の傍線部の助動詞の意味として最も適切なものを、次の中から選べ。

ア　過去　　イ　完了　　ウ　受身　　エ　自発
オ　可能　　カ　尊敬　　キ　使役　　ク　当然

問十一　次の傍線部ａ・ｂの文法的説明として適当なものを、後の中から選べ。

何事もせむに、いと便なかるべ（ａ）ければ、…
「やみなむと思ふこそ、いみじ（ｂ）けれ」

ア　ａは推量の助動詞の一部で、ｂは過去の助動詞
イ　ａは形容詞の一部で、ｂは過去の助動詞
ウ　ａは過去の助動詞で、ｂは形容詞の一部
エ　ａは推量の助動詞の一部で、ｂは形容詞の一部
オ　ａは形容詞の一部で、ｂは推量の助動詞の一部

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

まほし・たし

接続	基本形	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	活用の型
形	まほし			○		○	○　○	型
形	たし			○		○	○　○	型

【意味】

①　希望（〜たい）

（例）

下り**まほしう**なりにたらむ。

家にあり**たき**木は、松・桜。

問十二　「またまたも見まほしきに、ありもつかぬ…」の傍線部の活用の種類と活用形を答えよ。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問十三　「なほ童（わらは）にてあらせまほしきさまを、…」の傍線部の文法的意味として適当なものを、次の中から選べ。

ア　反実仮想の助動詞　　イ　断定の助動詞　　ウ　伝聞の助動詞
エ　現在推量の助動詞　　オ　希望の助動詞　　カ　願望の終助詞

ごとし

接続	基本形	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	活用の型
体言・連体形 助詞「の・が」	ごとし	**ごとく**	ごとく	ごとし	ごとき	○	○	形容詞型

※助詞「の・が」に付く場合

●体言＋の＋**ごとし**

（例）　ただ春の夜の夢の**ごとし**。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

●連体形＋が＋**ごとし**

（例）過ぎたるは猶及ばざるが**ごとし**。

【意味】

①　比況（〜**ようだ**）
②　例示（〜**ようだ**）

（例）扇を広げたるが**ごとく**末広になりぬ。
　　和歌・管弦・往生要集**ごとき**の抄物を入れたり。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第十一講

①　「戒(いまし)められむずらむ」を単語に分けた場合、どのような分け方になるか。最適なものを次の中から選べ。

ア　戒め／られ／むず／ら／む
イ　戒めら／れ／む／ず／らむ
ウ　戒め／られ／むず／らむ
エ　戒め／られ／む／ず／らむ

②　Ａ「侍るらむ」とＢ「敷けらむ」の文法的説明として最も適当なものを、次の中からそれぞれ選べ。

ア　四段動詞＋助動詞
イ　四段動詞＋助動詞＋助動詞
ウ　ラ変動詞＋助動詞
エ　ラ変動詞＋助動詞＋助動詞
オ　下二段動詞＋助動詞
カ　下二段動詞＋助動詞＋助動詞

Ａ＝　　　　Ｂ＝

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

③「死後なほあしくは報い候はじ」の傍線部の助動詞の意味について、最も適切なものを次の中から選べ。

ア　打消推量　イ　完了　ウ　命令　エ　仮定　オ　受身

④「いかが他の力を借る［　　］。」の空欄には「べし」を活用させたものが入る。(1)空欄に入れるのに最も適当な語形と、(2)その活用形の種類を、次の中からそれぞれ選べ。

(1)　ア　べし　イ　べけれ　ウ　べき
　　エ　べく　オ　べかる　カ　べかれ

(2)　ア　未然形　イ　連用形　ウ　終止形
　　エ　連体形　オ　已然形　カ　命令形

(1)＝　　(2)＝

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十一講　模範解答

問一　①ウ　②ア　③ウ　④ウ　⑤イ
問二　イ
問三　イ
問四　ア
問五　a ア　b エ
問六　イ
問七　ウ
問八　①推量　②適当　③打消意志　④当然　⑤禁止　⑥命令
問九　イ
問十　ク
問十一　エ
問十二　マ行上一段活用・未然形
問十三　オ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第十一講　模範解答・解説

〔解説〕

①　「むずらむ」の品詞分解は頻出。「らむ」がｕ段についているので「らむ」で一語の現在推量の助動詞。「むず」が「むず」で一語か、「む」と「ず」に分かれるかは、講義中にも説明したように、「ず」ならば上が未然形になるが、「む」に未然形は存在しないため「むず」で一語。よって、正解はウ。

②　Ａ　「らむ」の上がｕ段なので、「らむ」は現在推量の助動詞。「侍る」はラ変の連体形。よって、正解はウ。

　Ｂ　「らむ」の上がｅ段なので、「らむ」は完了の助動詞「り」＋推量系の助動詞「む」。完了「り」の上にある「敷け」は「り」の接続を考えると、サ変か四段のどちらかで、「敷かない」の四段活用である。よって、正解はイ。

③　助動詞「じ」の意味は、打消推量か打消意志。このうち、選択肢には打消推量しかないので、アが正解。

④　空欄補充の問題は係助詞絡みが多い。文末なので上を見て係助詞の有無を確認すると、係助詞ではないが、疑問語「いかが」がある。よって、文末は連体形に活用させる。選択肢の中で連体形はウかオ。下が助動詞ではないので、補助活用ではない「べき」になる。よって、⑴はウ、⑵はエ。

⑤　選択肢を横に見比べて違いを探し、わかりやすいところから解く。この場合は「べし」（と「む」）の接続と、係り結びの「結びの形」を使うと解きやすい。「候ふ」の活用形が、「連体形」と「終止形」に分かれているが、助動詞「べし」の上は終止形。よって、アとエは削る。（次に、「べし」の活用形が、「未然形」と「連用形」に分かれている。「ん」（＝選択肢から助動詞「む」）の上は未然形。よって、オも削る。）「む」の活用形が、「終止形」と「連体形」に分かれているが、係助詞

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

「や」があるので文末は連体形。よって、正解はウ。ちなみに、解説（　）部分の「む」の接続は飛ばして、「べし」の接続と「結びの形」だけでも正解にたどり着ける。

〔解答〕

① ウ
② A ウ　B イ
③ ア
④ (1) ウ　(2) エ
⑤ ウ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。